

工東 祐民 編輯

皇佛比例律

全

特39

582

一
本

東京圖書館	
新門	三一函
一部	六架
類	四九三六號

036250-000-1

特39-582

皇佛比例律

工東 祐民/編

M9

BBP-0964



工東祐民編輯

定價三十錢

皇佛比例律全

東京書肆 芳潤堂藏梓

特39
582



皇佛比例律

凡例

明治九年國書院發行

佛律禁錮ノ上罰金ヲ加ヘ及ヒ罰金ノ之追ス
 ルハ懲治以下ノ輕罪ニ限ルヲ以テ新律懲役
 三年以下諛ル者ト比較ス

一佛律有期ノ徒刑ハ二十年ニ止リ懲治ノ刑ハ
 五年ニ止ル之ヲ新律懲役ノ年數ニ比スレハ
 概子一倍ニ居ル故ニ日數金數共折半シテ其
 一分ヲ取り參考スヘシ

一佛律懲治以下ノ刑ニ諛ル者止夕禁錮ノ之ニ

工東祐民編輯

定價二十錢

皇佛比例律全

東京書肆 芳潤堂藏梓

特39
582

東京書肆

皇佛比例律

律

凡例

明治九年圖書局交付

ルハ懲治以下ノ輕罪ニ限ルヲ以テ新律懲役
 三年以下諛ル者ト比較ス

一佛律有期ノ徒刑ハ二十年ニ止リ懲治ノ刑ハ
 五年ニ止ル之ヲ新律懲役ノ年數ニ比スレハ
 概子一倍ニ居ル故ニ日數金數共折半シテ其
 一分ヲ取り參考スヘシ

一佛律懲治以下ノ刑ニ諛ル者止夕禁錮ノ之ニ

處シ或ハ徒以上仍ホ罰金ヲ徴スルアリ然ト
雖モ常例ニ非ルヲ以テ具載セス

一 賄ヲ計ヘテ罪ニ入ル者ハ役限ノ長短罰金ノ
多寡預メ定メ難シ故ニ他ノ例ト同ク折半ニ
據ル

一 違式註違ノ如キハ已ニ贖例アリ其他公布ノ
罰則アリト雖モ新律中條例ナキハ舍テ論セ
ス

一 佛律中數種ノ犯罪ヲ一條中ニ収ムル者アリ
之レヲ新律ニ參照スレハ多門ニ涉ル今絲分

綏折シテ彼是適合ヤントスレハ反テ條例ニ
矛盾スルアリテ能ハス故ニ此扁比較スル所
ハ唯其梗概ノ之ニシテ讀者他日ノ稽考ノ為
ニ備フルナリ

皇佛比

例律目錄

制律

棄毀官文書

事應奏不奏

衝突儀仗

不覺被盜

○戶婚律

棄毀器物稼穡

并餘例

立嫡違法條例

○賊盜律

盜官印

盜官私牛馬條例

盜田野穀麥

恐喝取賄

詐欺取賄

兇徒聚眾 并條例

○人命律

毒藥殺人條例

過失殺傷人

威逼致死

私和人命 并條例

移地界內死屍條例

○鬪毆律

鬪毆

○罵詈律

罵官吏

○訴訟律

兼告不理

誣告

○受賕律

官吏受賕

事後受賕

聽許賕物

以賕請求

○詐偽律

對詔上書詐不以實條例

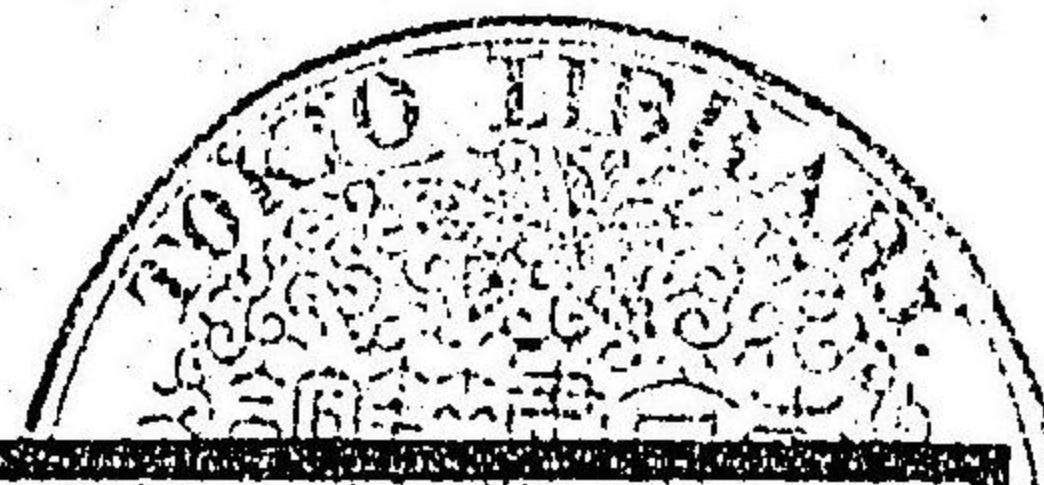
改正偽造寶貨

偽造斛斗秤尺

詐稱官

○犯姦律

改正犯姦律



皇朝地儀

○新編兩律比例
新編職制律ヲ廢ス
九年四月十四日
第九號
御布告

○棄毀官文書

官文書ヲ故サラニ棄毀
者ハ懲役一百日重事
關スル文書ハ一等ヲ加
規避スル所アル者ハ重
キニ從テ論ス誤毀スル者
ハ懲役七十日遺失スル者

工東祐民編輯

○第二百五十一條 證書類

簿冊證票等ニ蓋印シタル
緘印ヲ故ラニ破毀シ及ヒ
破毀セント為タル者又ハ
其緘印ヲ破毀シ及ヒ破毀
セント為ス事ニ加リタル

モ罪同省臺察司府藩縣ノ
文書ハ各二等ヲ減シ餘ノ
文書ハ各五等ヲ減ス若シ
官物ヲ主守レテ簿書ヲ遺
失シ以テ錢糧數目ノ錯乱
ヲ致ス者ハ懲役八十日其
水火盜賊ニ因テ毀失スル
者ハ坐セス

者等ハ一年ヨリ少カラス
三年ヨリ多カラサル時間
禁錮ノ刑ニ処セラレ可シ
看守人ニ於テ自ラ其緘印
ヲ破毀シ及ヒ破毀スル事
ニ加リタル時ハ二年ヨリ
少カラス五年ヨリ多カラ
サル時間禁錮ノ刑ニ處セ
ラル可シ
前ノ一箇ノ場合ニ於テ其

テラシ
公九代
十文目
當ル

○事應奏不奏

凡上司ニ申ス可クシテ申セ
ス下司ニ行ス可クシテ行
セサル者ハ懲役三十日規
避スル所アル者ハ重キニ
從テ論ス
若シ已ニ奏シ已ニ申シテ

犯人ハ十四テラシヨリ少カラス
四百圓テラシヨリ多ナラサル罰
金ノ言渡ヲ受ク可シ

第二百二十八條 裁判役ニ

於テ其裁判所へ呈訴セシ
事ノ政權ニ管ス可キ條件
クル公然ノ告知ヲ得ト虫
凡上班ノ吏ノ決定ヲ待ス
シテ其裁判ヲ為タル者ハ

回報ヲ待タズ輒ク施行ス
ル者ハ並ニ不奏不申ノ罪
ニ同

佛國佛國裁判所ハ
更ニ他ノ官
員アリテ
總括シテ
ハルケル名
目ニテ
ビテアリ
テ

○衝突儀仗

凡車駕行幸ノ處ハ近侍及ヒ

其各人ニ於テ三十圓二十錢
ヨリ少カラス三十圓百五十ヨリ
多カラサル罰金ノ言渡ヲ
受ク可シ
此裁判ヲ求需シ及ヒ此裁
判ヲ得ン事ヲ陳述シタル
ニニステール、ヒュブリックハ
同刑ニ處ヒラル可シ

佛第八十六條四項 皇帝ノ身体

護駕ノ官車ヲ除クノ外其
餘ノ軍民ハ並ニ迴避スヘ
シ敢テ儀仗内ニ衝入スル
者ハ懲役一百日

對シ公然ニ行ヒタル諸般
ノ不敬ハ六月ヨリ少カラ
ス五年ヨリ多カラサル時
間禁錮ノ刑ニ處シ且一五圓
ヨリ少カラス二十圓ヨリ
多カラサル罰金ヲ以テ罰
ス可シ

項六 皇族ヘ對シ公然ニ行ヒタ
ル諸般ノ不敬ハ一月ヨリ
少カラス三年ヨリ多カラ

○不覺被盜

凡倉庫内ノ物ヲ盜レテ主守
覺察ニ失スル者ハ懲役四
十日其強盜ニ遇ヒ防禦ス
ト雖力敵スルト能ハサ
ル者ハ論スルト勿レ

サル時間禁錮ノ刑ニ處シ
且二十回百ヲシテヨリ少カラス千五ヲ
圓之レヨリ多カラサル罰金ヲ
以テ罰ス可シ

佛第二百五十四條 證書類

ヲ藏スル官署又ハ裁判所
ノ書記房又ハ公然ノ書類
ヲ藏スル場所等ニ貯ヘ及
ヒ政府ヨリ任ヲ受ケシ者

守ヘニ管守セシメタル犯
罪訴訟ノ證書及ヒ其他ノ
證書類簿冊、證票等ノ竊取
亡失及ヒ攘奪等ヲ受ケシ
事アル時ハ其懈怠セシ書
記官書類ヲ管守スル者及
ヒ刀テイル又ハ其他ノ者
守人等ニ於テ三月ヨリ少
カラス一年ヨリ多カラサ
ル時間禁錮ノ刑ニ處セラ

戸婚律

○棄毀器物稼穡

凡人ノ器物ヲ棄毀シ及ヒ樹木稼穡ヲ毀伐スル者ハ贓ニ計ヘ竊盜ニ準シテ論ス官物ハ一等ヲ加フ若シ官物ヲ遺失シ及誤毀スル者

レ且^{百ラシ}二十圓ヨリ少カラス六十圓ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

○第四百五十六條 溝渠ヲ

填メ又ハ塀牆ノ何物ヲ以テ造リタルヲ論セス之ヲ破壞シ又ハ植籬及ヒ編籬等ヲ斫リ毀テ及ヒ枝キ採

ハ各三等ヲ減シ數ヲ驗シテ追償ス私物ヲ遺失誤毀スル者ハ但タ償テ罪ニ坐セス

同條例

凡牛馬ヲ失防シテ田野ノ穀麥ヲ毀損スル者ハ違式輕ニ依リ若シ毀損スル所贓ニ計ヘ重キ者ハ坐贓ニ依リ二等ヲ減シ仍ホ毀損ス

リシ者又ハ田地森林等ノ經界ヲ定ムル為メ施シタル石及ヒ其經界ヲ定ムル為メ植タル樹木又ハ其經界ノ限定ヲ為ステ衆庶ノ通知シタル樹木等ヲ移動シ又ハ毀棄セシ者等ハ一月ヨリ少カラズ一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且償還ノ金額

ル所ノ物ヲ賠償セシム

同條例

允故ナク河防ヲ決潰シ水柵

石籠ヲ毀損スル者ハ情ヲ

量リテ不應為ニ問ヒ輕重

ヲ分ツ

ノ四分一ニ當ル可キ罰金

ノ言渡ヲ受ク可シ但シ其

罰金ハ何レノ場合ニ於テ

モ十^五田ヨリ少ナキ事ナカ

ル可シ

佛第四百四十三條 腐爛ヲ生

セシムル流動物ヲ用ヒ及

ヒ其他ノ方法ニ因リ故意

ヲ以テ商品又ハ製造ヲ為

ス可キ品物及ヒ器具等ノ

類ヲ損毀シタル者ハ一月

ヨリ少カラズ二年ヨリ多

カラサル時間禁錮ノ刑ニ

處セラレ且償還ノ金額ノ

四分一ヨリ多カラズ三^月田

二十錢ヨリ少カラサル罰

金ノ言渡ヲ受ク可シ

佛第四百四十五條 樹木ク他

人ニ屬セシ事ヲ知り其一

根又ハ數根ヲ斫伐セシ者

ハ其斫伐シタル樹木ノ每
根ニツキ六日ヨリ少カラス
六月ヨリ多カラサル時間禁
錮ノ刑ニ處セラレ可シ但シ其斫
伐レタル樹木ノ數ニ於テ幾
許アリト雖モ其犯人ヲ五
年ヨリ以上ノ刑ニ處スル
事ナカル可シ

佛第四百四十六條 樹木ノ枯
死セシムル方法ヲ以テ之

ヲ傷ケ及ヒ斫リ或ハ其皮
ヲ剥去セシ者ハ其樹木ノ
每根ニツキ前條二等シキ
刑ニ處セラレ可シ

佛第四百四十七條 接木ノ
一根又ハ數根ヲ損害シタ
ル者ハ其接木ノ每根ニツ
キ六日ヨリ少カラス二月
ヨリ多カラサル時間禁錮
ノ刑ニ處セラレ可シ但シ

其損害セシ數ニ於テ幾許
アリト雖モ其犯人ヲ二年
ヨリ以上ノ刑ニ處ス可カ
ラス

備第四百四十八條 若シ街衢
大道、道路、市街、小路、徑等ニ
植タル樹木ヲ斫伐シ又ハ
損害シタル者ノ第四百四
十五條及ヒ第四百四十六
條等ニ記載セシ場合ニ於

テハ其至輕ノ刑ニ於テニ
十日ノ時間禁錮スルヨリ
以下ナルヲテ第四百四
十七條ニ記載シタル場合
ニ於テハ其至輕ノ刑ニ於
テ十日ノ時間禁錮スルヨ
リ以下ナルヲテ可シ
備第四百五十二條 馬又ハ其
他車ヲ挽シメ及騎行ノ用
ニ供シ或ハ物ヲ搬般スル

ノ用ニ供ス可キ獸類又ハ
牛、羊、豚、及ヒ池沼ニ養フタ
ル魚等ニ毒物ヲ與ヘシ者
ハ一年ヨリ少カラス五年
ヨリ多カラサル時間禁錮
ノ刑ニ處セラレ且十六ヨリ三十回ニ
十錢ヨリ少カラス三百ヨリ六十回
ヨリ多カラサル罰金ノ言
渡ヲ受ク可シ但シ其犯人
ハ載判所ノ命ヲ以テ二年

ヨリ少カラス五年ヨリ多
カラサル時間政府ノ監察
ヲ受ク可シ

佛第四百五十三條 已ムヲ

得サルニ非スシテ前條ニ
記シタル獸類ノ一ヲ殺セ
シ者ハ左ノ刑ニ處セラレ
可シ

若シ其獸類ヲ蓄ヒ置シ者
ノ所有シ及ヒ借受シ家屋

又ハ其圍繞ヲ為タル場所
及ヒ其附属ノ場所又ハ土
地等ニ於テ此輕罪ヲ犯シ
タル者ハ二月ヨリ少カラ
ス六月ヨリ多カラサル時
間禁錮ノ刑ニ處セラル可
シ
若シ犯人ノ所有シ及ヒ借
受シ場所ニ於テ此輕罪ヲ
犯シタル時ハ六月ヨリ少

カラス一月ヨリ多カラサ
ル時間禁錮ノ刑ニ處セラ
ル可シ
若シ前ノ五項ニ記シタル
以外ノ場所ニ於テ此輕罪
ヲ犯セシ者ハ十五日ヨリ
少カラス六週ヨリ多カラ
サル時間禁錮ノ刑ニ處セ
ラル可シ
何レノ場合ニ於テモ塀牆

ヲ破壊シテ此輕罪ヲ犯セ
シ者ハ其至重ノ刑ニ處セ
ラル可シ

佛第四百五十四條 已ムヲ得
サルニ非スシテ獸類ノ所
有者ノ所有シ及ヒ借受シ
場所ニ於テ家屋内ニ蓄フ
獸類ヲ殺セシ者ハ六日ヨ
リ少カラス六月ヨリ多カ
ラサル時間禁錮ノ刑ニ處

セラル可シ

若シ塀牆ヲ破壊シテ此輕
罪ヲ犯セシ者ハ其至重ノ
刑ニ處セラル可シ

佛第四百五十五條 第四百

四十四條ヨリ前條ニ至ル
迄ノ各條ニ開載シタル場
合ニ於テハ其犯人ニ於テ
償還ノ金額ノ四分一ヨリ
多カラス三四^{本ナシ}二十錢ヨリ

少カラサル罰金ノ言渡ヲ
受ク可シ此條前數
條見合七

佛第二百五十七條 公然ノ有
益又ハ觀美トナス可キ為
官署ニ於テ造立シ及ヒ官
署ノ允許ヲ得テ造立シタ
ル永存ノ建造物及ヒ立像
又ハ其他ノ物等ヲ破壊シ
及ヒ毀損シタル者ハ一月
ヨリ少カラス二年ヨリ多

○立嫡違法條例

凡子女ヲ棄ル者ハ父母養父
母ヲ分タス並ニ懲役百日
繼父母ハ一等ヲ加フ雇ヲ
受ケ棄ル者ハ懲役九十日
婦女ト雖モ收贖スルヲ

カラサル時間禁錮ノ刑ニ
處セラレ且百ヲシテ二十圓ヨリ少
カラス百圓ヨリ少カラサ
ル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

佛第三百四十九條 全周七
歳以下ノ兒ヲ寡聞ノ地へ
棄シ者及ヒ其子ヲ棄ツ可
キノ命ヲナシ現ニ其命ノ
行ハレシ者等ハ此所行ノ

聽サス

ミヲ以テ六月ヨリ少カラ
ス二年ヨリ多カラサル時
間禁錮ノ刑ニ處セラレ且
三圓十カシ二十錢ヨリ少カラス
四十圓三十カシヨリ多カラサル罰
金ノ言渡ヲ受ク可シ

佛第三百五十二條 全周七
歳以下ノ兒ヲ寥聞ナラサ
ニ地へ棄シ者ハ三月ヨリ
少カラス一年ヨリ多カラ

サル時間禁錮ノ刑ニ處セ
ラレ且三圓十カシ二十錢ヨリ少
カラス二十圓百カシヨリ多カラ
サル罰金ノ言渡ヲ受ク可
シ

佛第三百五十條 兒ノ後見
人及ヒ其受業ノ師等ニ於
テ自カラ其兒ヲ棄テ及ヒ
棄ツ可キ命ヲ為シタル者
ハ二年ヨリ少カラス五年

ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且五十ラシム十圓ヨリ少カラス八十圓ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

佛第三百五十三條 若シ兒ノ後見人及其受業師等ニ於テ前條ニ記シタル輕罪ヲ犯セシ時ハ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサ

賊盜律

○盜官印

凡官ノ印ヲ盜ム者ハ皆懲役十年省臺察司府藩縣ノ印ハ皆懲役三年餘ノ印ハ懲役八十日

ル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且五十ラシム五圓ヨリ少カラス四十圓ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

佛第四百九條 裁判所ニ於テ五ニ訴訟ヲ為シ證書及ヒ記單等ノ類ヲ造リシ後ニ何ノ方法ヲ論セス其証書

○盜官私牛馬條例

第四百十條 凡官私牧場ノ牛馬ヲ盜ム者ハ律ニ照シ

及ヒ記單等ヲ竊取セシ者
ハ五五トテ圓ヨリ少カラス六十三十トテ圓ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
但シ其刑ハ訴訟ヲ為タル裁判所ヨリシテ言渡ス可シ

佛第三百八十八條 田野ニ

於テ物ヲ負載セシメ又ハ

テ罪ヲ科シ懲役十年ニ止ルヲ除ク外其官ノ厩闌ノ牛馬ヲ盜ム者ハ常人盜ヲ以テ論シ監守人自ラ盜ム者ハ監守盜ヲ以テ論シ民間厩闌ノ牛馬ハ竊盜ヲ以テ論ス若シ盜テ殺ス者官ニ係ルハ懲役一年私ニ係ルハ一等ヲ減ス贓ニ計ヘ本罪ヨリ重キ者ハ前ニ照

車ヲ挽カシメ或ハ騎行ニ用フル馬及ヒ其他ノ獸類又ハ大小ノ家畜獸及ヒ耕作ノ器具等ヲ盜ミ又ハ盜マント為タル者ハ一年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且二十十トテ錢ヨリ少カラス百圓五十トテヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

之各盜罪ヲ以テ論シ一等
ヲ加フ

第百四十一條 凡官ノ牛馬
ヲ故殺スル者ハ懲役百日
民間ノ牛馬ハ一等ヲ減ス
若シ賊ニ計ヘ本罪ヨリ重
キ者官ニ係ルハ常人盜ニ
準シ私ニ係ルハ竊盜ニ準
シテ論シ並ニ罪懲役十年
ニ止ル

賣鬻ス可キ木杖及ヒ石鑛
ニアル石又ハ池沼ニ養フ
魚等ヲ盜ミシ者ハ同上ノ
刑ニ處セラル可シ
田野ニ於テ既ニ地ヨリ刈
収セシ穀類及ヒ其他要用
ノ産物又ハ堆積シタル刈
収セシ穀類草類等ヲ盜ミ
及ヒ盜マント為シタル者
ハ十五日ヨリ少カラスニ

○盜田野穀麥

凡田野ノ穀麥菜菓及ヒ人ノ
看守スルヲ無キ器物ヲ盜
ム者ハ並ニ賊ニ計ヘ竊盜
ニ準シテ論ス罪懲役十年
ニ止ル
若シ山野ノ柴草木石ノ類
他人已ニ工カヲ用ヒテ斫
伐積聚スルヲ擅ニ取去ス
ル者モ罪亦同

年ヨリ多カラサル時間禁
錮ノ刑ニ處セラレ且三三ツ回
二十錢ヨリ少カラス四十四十
圓ヨリ多カラサル罰金ノ
言渡ヲ受ク可シ
馬車及ヒ物ヲ負載セシム
ル獸類等ヲ用ヒ又ハ夜間
及ヒ晝間等ヲ論セス教人
ニ於テ前文ニ記シタル盜
罪ヲ犯セシ者ハ一年ヨリ

少カラス五年ヨリ多カラ
サレ時間禁錮ノ刑ニ處セ
ラレ且三十圓十二十錢ヨリ少
カラス百圓五百ヨリ多カラサ
ル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
未夕地ヨリ刈収セサル穀
類及ヒ其他ノ地ヨリ生シ
タル要用ノ産物等ヲ籃囊
及ヒ其他ノ器具又ハ馬車
及ヒ物ヲ負載セシムル歎

類等ヲ用ヒ又ハ夜間及ヒ
晝間等ヲ論セス数人ニ於
テ此盜罪ヲ犯シ及ヒ犯サ
ント為タル者ハ十五日ヨ
リ少カラス二年ヨリ多カ
ラサル時間禁錮ノ刑ニ處
セラレ且三十圓十二十錢ヨリ
少カラス四十圓三百ヨリ多カ
ラサル罰金ノ言渡ヲ受ク
可シ

此一條ニ記ルシタル何レノ場合ニ於テモ其犯人ハ前文ニ記セシ刑ノ外其刑ヲ受ケシ日ヨリシテ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサラ時間第四十二條ニ記ルシタル公権ノ全部又ハ一部ヲ行フノ禁ヲ受ケ且裁判所ノ命ヲ以テ同上ノ期限間政府ノ監察ヲ

○恐喝取賤

凡恐喝シテ人ノ賤物ヲ取ル者ハ賤ニ計ヘ竊盜ニ準シテ論シ一等ヲ加フ罪懲役十年ニ止ル若シ二等親以下自ラ相恐喝スル者卑幼尊長ヲ犯スハ凡人ヲ以テ論シ尊長卑幼ヲ犯スハ親屬相盜律ニ依リ遞減シテ

受クル附加ノ刑ニ処セラ
ルヘシ

佛第四百五條 偽名ヲ用ヒ

又ハ偽ノ身位ヲ稱シ又ハ偽ノ起_疑無實ノ威權及ヒ偽ノ信據ヲ人ニ證シ示ス可キ為メ詐計ヲ用ヒシ者及ヒ無實ノ成功無底ノ事故等ヲ布望シ又ハ人ヲシテ畏怖ノ念ヲ生セシム可

罪ヲ科ス

○詐欺取賂

凡官私ヲ詐欺シテ賂物ヲ取
ル者ハ並ニ賍ニ計ヘ竊盜
ニ準シテ論ス罪懲役十年
ニ止ルニ等親以下自ラ相
詐欺スル者モ又親屬相盜
律ニ依リ遞減シテ罪ヲ科
ス
若シ監臨守主監守スル賂

キ爲メ偽計ヲ用ヒテ人ノ
所有スル金銀、賂物、證券、票
子、契約書、算還ノ証書等ヲ
已レニ交付セシメ及ヒ交
付セシメント為シ且其偽
計ヲ以テ人ノ産業ノ全部
又ハ一部ヲ竊取シ及ヒ竊
取セント為タル者等ハ一
年ヨリ少カラス五年ヨリ
多カラサル時間禁錮ノ刑ニ

物ヲ詐取スル者ハ監守盜
ヲ以テ論ス未タ得サル者
ハ其詐取セント欲スル数
ヲ計ヘ二等ヲ減シ罪ヲ科
ス
若シ人ノ賂物ヲ冒認シテ
已レノ物ト為シ及ヒ誑贖
局騙拐帶スル者モ又賍ニ
計ヘ竊盜ニ準シテ論ス罪
懲役十年ニ止ル親屬ナラ

處セラレ且^キ十^キ四ヨリ少カラ
ス六百圓ヨリ多カラサル
罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
且其犯人ハ其刑ヲ受シ日
ヨリシテ五年ヨリ少カラ
ス十年ヨリ多カラサル時
間第四十二條ニ記シタル
民権ヲ行フノ禁ヲ受ク可
シ但シ此規則ト其犯人ノ
贖造偽造等ノ重罪アル時

ハ又親屬相盜律ニ依リ逃
減シテ罪ヲ科ス

是第四百
條ノ恐
喝取財條
照合ス
余條ハ詐
取取條ト
比照ス

更ニ重刑ニ處セラル可キ
規則ト相抵觸スルナカ
ル可シ

佛第四百條項文書及ヒ言詞
等ヲ以テ人ヲ脅迫シ又ハ
人ノ名望ヲ辱ム可キ告發
及ヒ罵詈等ヲ為シテ金額
ヲ交付セシメシ者又ハ前
文ニ記シタル書類証券等
ニ姓名ヲ署セシメ又ハ其

書類証券等ヲ交付セシメ
シ者等ハ一年ヨリ少カラ
ス二年ヨリ多カラサル時
間禁錮ノ刑ニ處セラレ且
十日ヨリ少カラス六百圓
ヨリ多カラサル罰金ノ言
渡ヲ受ク可シ

佛第三百八十七條 御者、舟師
及ヒ其代人等搬運ノ任ヲ
受ケタル葡萄酒及ヒ其他

ノ流動物又ハ商品等ヲ詭
換シ及ヒ詭換セント為シ
且人害トナル可キ物ヲ混
合シ又ハ混合セント為シ
テ其詭換ヲ行ヒ又ハ行ハ
ント為シタル者ハ二年ヨ
リ少カラス五年ヨリ多カ
ラサル時間禁錮ノ刑ニ處
セラレ且手ヲシテ五手ヲシテ四ヨリ少カラ
ス百圓ヨリ多カラサル罰

金ノ言渡ヲ受ク可シマタ
其犯人ハ五年ヨリ少カラ
ス十年ヨリ多カフサル時
間第四十二條ニ記シタル
民權ヲ行フノ禁ヲ受ケ且
同上ノ期限間裁判所ノ命
ヲ以テ政府ノ監察ヲ受ク
可シ
若シ人害トナル可キ物ヲ
混合セサル時ハ十月ヨリ

少カラス一年ヨリ多カラ
サル時間禁錮ノ刑ニ處セ
ラレ且^{夫ヲシテ}三四^{百ヲシテ}二十錢ヨリ少
カラス二十圓ヨリ多カラ
サル罰金ノ言渡ヲ受ク可
シ

佛第四百六條 劫者ノ急之
心怯情欲等ニ乘レ其害ト
ナル可キ方法ヲ用ヒ其劫
者ヲシテ其金銀動産及ヒ

商業ノ證券又ハ其他ノ証
券等ヲ貸與フルノ證書算
計書等ニ其姓名ヲ署セシ
メシ者ハ其契約ヲ結ヒタ
ル時ノ方法及ヒ何如ナル
口實アル等ヲ問ハス二月
ヨリ少カラス二年ヨリ多
カラサル時間禁錮ノ刑ニ
處セラレ且其罪犯ノ為メ
損害ヲ受タル者ニ償還ヲ

為ノ可キ總額ノ四分一ヨ
ク考カラス五圓五圓ニシヨリ少カ
ラサル罰金ノ言渡ヲ受ク
可シ但シ此犯人ハ其上前
條ノ次項ニ記シタル刑ヲ
用フ可シ

條第四百七條 自己ニ於テ
委任ヲ受ケタル證券ノ其
姓名ヲ署シタル餘白へ偽
テ借入ノ証又ハ算還ノ証

等ヲ記シ及ヒ其他其書へ
姓名ヲ署シタル者ノ身体
又ハ産業等へ對シ害トナ
ル可キ証ヲ記シタル者ハ
第四百五條ニ記シタル刑
ニ處セララル可シ

若シ其証券ノ委任ヲ受サ
ル者ノ其罪犯ヲ行ヒシ時
ハ贋造ノ罪アリト為シテ
贋造ノ刑ニ處セララル可シ

佛第四百條 第三項

負債ノ為メ自己ニ於テ討
還ヲ受ク可キ品物ヲ其管
守中ニ亡失シ及ヒ竊取シ
又ハ亡失及ヒ竊取セント
為タル者ハ第四百六條ニ
記スル所ノ刑ニ處セラ
ル可シ前條見合
若シ負債抵當トシテ交付
ス可キ品物ヒキアテヲ他人ニ托シ

タル時其品物ヲ亡失シ及
ヒ竊取シ又ハ亡失及ヒ竊
取セント為タル者ハ第四
百一條ニ記スル所ノ刑ニ
處セラル可シ後條見合
負債者又ハ他人ノ負債ノ
保証ヲ為ス者等ノ其証ト
シテ附與シタル品物ヲ亡
失シ及ヒ竊取シ又ハ亡失
及ヒ竊取セント為シタル

者ハ亦第四百一條ニ記ス
ル所ノ刑ニ處セラル可也
故意ヲ以テ窃取シタル物
ヲ隠藏セシ者或ハ負債者
又ハ負債ノ保証者等ノ夫
又ハ婦及ヒ其尊屬ノ親又
ハ卑屬ノ親ニ於テ其負債
者又ハ負債ノ保証者等ノ
証トシテ附與シタル品物
ヲ亡失シ及ヒ窃取シ又ハ

亡失及ヒ窃取セント為タ
ルヲ助ケシ者ハ犯人ト同
刑ニ處セラル可シ

佛第四百一條 前條ニ記サ

サル欺罔ヲ以テ行フタル
盜罪ヲ犯セシ者及ヒ犯サ
ント為タル者等ハ一年ヨ
リ少カラス五年ヨリ多カ
ラサル時間禁錮ノ刑ニ處
セラレ且三四六十錢ヨリ

少カラス百圓百圓ヨリ多カラヨリ多カラ
サル罰金ノ言渡ヲ受ク可
シ
又其犯人ハ其刑ヲ受ケシ
日ヨリシテ五年ヨリ少カ
ラス十年ヨリ多カラサル
時間第四十二條ニ記シタ
ル民權ヲ行フノ禁ヲ受ク
可シ且其犯人ハ裁判所ノ
命ヲ以テ同上ノ期限間政

○兇徒聚衆

兇徒衆ヲ聚ノ村市ヲ毀壞
燒亡シ賫物ヲ劫奪シ若ク
ハ人民ヲ殺死スル者造意
ハ斬從ハ懲役十年從ノ手
ヲ下シ人ヲ殺シ火ヲ放ツ
者ハ絞其止夕附和隨行シ
場ニ在テ勢ヲ助ケル者ハ
論スルヲ勿レ

府ノ監禁ヲ受ク可シ

第四百四十條 群衆ヲナ
シ且暴威ヲ以テ品物及ヒ
商品又ハ金銀ノ証票及ヒ
其他動産ノ類等ヲ毀損セ
シ者ハ有期ノ徒刑ニ處セ
ラル可シ且其各犯人ハ四
十圓十圓ヨリ少カラス千圓千圓ヨ
リ多カラサル罰金ノ言渡

同條例

九兇徒聚衆ノ從ニシテ情輕
キ者ハ懲役三年

同條例

九附和隨行シテ火ヲ放ツ者
ハ從ニシテ火ヲ放ツ者ニ
二等ヲ減シ懲役十年其脅
誘セラレ火ヲ放ツ者ハ懲
役三年其餘牆屋ヲ毀ツ者
ハ不應為重ニ問フ其止夕

ヲ受ク可シ

佛第四百四十二條 此暴行
ニ因テ穀物及ヒ不良ノ穀
物又ハ穀粉及ヒ諸般ノ粉
ト為ス可キ品物又ハ麵包
葡萄酒及ヒ其他ノ飲料等
ヲ損敗セシ時ハ其暴行ノ
首謀及ヒ唆挑シタル者等
ニ於テ有期ノ至重ノ徒刑
ニ處セラレ且第四百四十

場ニ在テ勢ヲ助ル者ハ勿
論ノ律ヲ改メ違令ニ問ヒ
輕重ヲ分テ贖罪スルヲ
聽ス

條ニ記シタル至重ノ罰金
ノ言渡ヲ受ク可シ

但本條懲治ノ外施體ノ刑ニ
係ル暫ク參考ニ掲出ス

佛第二百十八條 官署ノ命

ニ抗セシ罪ニツキ禁錮ノ
刑ノ言渡ヲ受ケレ犯人ハ
其上三四^{十六}二十錢ヨリ少
ラス四十圓^三ヨリ多カラサ
ル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

人命律

○毒藥殺人條例

凡人ヲ殺スノ心ナシト雖
毒藥ヲ用ヒテ故ラニ疾苦
セシムル者ハ懲役八十日

佛第三百十七條 何レノ法
方ヲ論セス人ヲ殺スノ質
ナク唯人ノ健康ヲ害ス可
キ質アル物品ヲ故意ヲ以
テ人ニ用ヒ其人ヲシテ病
ニ罹ラシメシ者又ハ其職
業ヲ營スルヲアタハサル
ニ至ラシメシ者等ハ一月
ヨリ少カラス五年ヨリ多
カラサル時間禁錮ノ刑ニ

○過失殺傷人
凡過失ニテ人ヲ殺傷スル者
ハ各鬪殺傷ニ準シ法ニ依

處セラレ且三其山三二十錢五
ヨリ少カラス百圓五ヨリ多カ
ラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ
其上二年ヨリ少カラス十
年ヨリ多カラサル時間政
府ヨリ監察ヲナシ送致ス
可シ
佛第三百十九條 疎失疎虞
及規則ヲ遵守セサル等ノ
事ニ因リ故意ニ非スレテ

リ収贖シテ其家ニ給付ス

人ヲ殺シ及ヒ人ヲ殺スノ
原由ヲ為ス等ノ者ハ三月
ヨリ少カラス二年ヨリ考
カラサルノ時間禁錮ノ刑
ニ處セラレ且キヲシ十回ヨリ少
カラス六百ヲシ百二十圓ヨリ考カ
ラサル罰金ノ言渡ヲ受ク
可シ

第三百二十條 疎失又ハ
疎虞等ニ因リ人ヲ創傷シ

及ヒ毆撃シタルミナル時
ハ其犯人ニ於テ六日ヨリ
少カスス二月ヨリ多カラ
サル時間禁錮ノ刑ニ處セ
ラレ且十ヲシ三回十ヲシ二十錢ヨリ少
カラス百ヲシ二十圓ヨリ多カラ
サル罰金ノ言渡ヲ受ケ又
ハ其刑中ノ一箇ノミノ言
渡ヲ受ク可シ

○威逼致死

凡戸婚田宅錢債等ノ事ニ因
テ人ヲ威逼シテ自死ニ致
ス者ハ懲役一百日若シ官
吏公使人等公務ニ因ルニ
非スレテ平民ヲ威逼シ因
テ自死ニ致ス者モ罪同並
ニ埋葬金二十五圓ヲ追給
ス

佛第三百五條 匿名ノ書類
及ヒ記名ノ書類等ヲ以テ
人ヲ陰殺シ及ヒ毒殺シ又
ハ死刑無期ノ徒刑流刑等
ニ抵ル可キ暴行ヲ以テ人
ニ加ヘント脇迫シタル者
ノ已レノ指示セシ場所ニ
金額ヲ輸送ス可キノ強令
及ヒ其他ノ契約ヲ行フ可
キノ強令等ヲ用ヒ人ヲ脅

迫シタル時ハ二年ヨリ少
カラス五年ヨリ多カラサ
ル時間禁錮ノ刑ニ処セラ
レ且^{重キヲシテ}三十日ヨリ少カラス
二百日ヨリ多カラサル罰
金ノ言渡ヲ受ク可シ

佛第三百六條 若シ其脅迫
ニ附加シテ強令及ヒ契約
等ヲ行ハサルトキハ其犯
人ニ於テ一年ヨリ少カラ

ス三年ヨリ少カラサル時
間禁錮ノ刑ニ處セラレ且
百圓以上二十四ヨリ少カラス百圓以上百二
十圓ヨリ少カラサル罰金
ノ言渡ヲ受ク可シ

補第三百七條 若シ言詞ヲ
用ヒテ前條ニ記載シタル
脅迫ヲナシ且其脅迫ニ附
加シテ強令及ヒ契約等ヲ
為タル時ハ其犯入ニ於テ

六月ヨリ少カラス二年ヨ
リ少カラサル時間禁錮ノ
刑ニ處セラレ且五十圓以上五圓ヨリ
少カラス三十圓以上六十圓ヨリ多カ
ラサル罰金ノ言渡ヲ受ク
可シ

佛第三百八條 言詞及ヒ文
書ヲ以テ第三百五條ニ記
載セシ以外ノ暴行ヲ加ヘ
ント脅迫シ且其脅迫ニ附

○私和人命

加シテ強令及ヒ契約等ヲ
為シタル者ハ六日ヨリ少
カラス三月ヨリ多カラサ
ル時間禁錮ノ刑ニ處セラ
レ且三十四十錢ヨリ少カ
ラス二十百四ヨリ多カラサ
ル罰金ノ言渡ヲ受ケ又ハ
其刑中ノ一箇ノ之ニ處セ
ラル可シ

允祖父母父母及ヒ夫若クハ
家長人ニ殺サレテ子孫妻
妾及ヒ奴婢私和スル者ハ
懲役三年二等親ノ尊長人
ニ殺サレ私和スル者ハ懲
役二年三等親以下各一等
ヲ遞減ス其卑幼人ニ殺サ
レテ尊長私和スル者ハ各
等親ニ依テ卑幼ノ罪二一
等ヲ減ス若シ妻妾子孫及

佛第三百五十九條 兇殺ニ
逢ヒシ者及ヒ創傷毆擊等
ヲ受ケシニ因リ死亡シタ
ル者ホノ死屍ヲ掩蔽セシ
者ハ六月ヨリ少カラス二
年ヨリ多カラサル時間禁
錮ノ刑ニ處セラレ且十五四百
ヨリ少カラス八十百ヨリ
多カラサル罰金ノ言渡ヲ
受ク可シ但シ此規則ト此

ヒ子孫ノ婦奴婢人ニ殺リ
レ祖父母父母夫家長私和
スル者ハ懲役八十日賤ヲ
受ル者ハ並ニ贓ニ計ヘ窃
盜ニ準シ重ニ從テ之ヲ科
ス
常人他人ノ為ニ人命ヲ私
和スル者ハ懲役六十日賤
ヲ受ル者ハ贓ニ計ヘ枉法
ニ準シ重ニ從テ論ス

罪ヲ犯セシ者ノ人ヲ殺シ
及ヒ創傷毆撃等ヲ為タル
ノ重罪ニ加リシ時更ニ重
刑ニ處セラル可キ規則ト
相抵觸スルヲナカル可シ

私和人命條例

凡家長人ニ殺サレ雇人私和
スル者ハ懲役百日若シ雇
人人ニ殺サレ家長私和ス
ル者ハ懲役七十日
○移地界内死屍條例
凡墳塚ヲ發掘シテ棺擲ヲ見
ハス者ハ懲役一年已ニ開
テ屍ヲ見ハス者ハ懲役三
年屍ヲ殘毀スル者ハ懲役

佛第三百六十條 墳墓へ暴
行ヲ加ヘシ者ハ三月ヨリ
少カラズ一年ヨリ多カラ
サル時間禁錮ノ刑ニ處セ

五年

允喪死ニ係ル屍ハ官ノ檢視
ヲ經ルニアラサレハ私擅
埋葬スルヲ聽サス違フ
者ハ懲役四十日

ラレ且三十回ニ十錢ヨリ少
カラス四百回ヨリ少カラ
サル罰金ノ言渡ヲ受クヘ
シ但シ此規則ト其犯人ノ
此暴行ニ附加シテ犯シタ
ル輕重罪ニツキ受ク可キ
所ノ刑ト相抵觸スルヲ十
カル可シ
第三百五十八條 政府ヨ
リ任ヲ受ケシ官吏ノ特ニ

允許ヲ受ク可キ定則アル
場合ニ於テ其允許ヲ得ス
シテ死者ヲ埋葬セシ者ハ
六月ヨリ少カラス二月ヨ
リ少カラサル時間禁錮ノ
刑ニ處セラレ且三十回ニ十
錢ヨリ少カラス十圓ヨリ
少カラサル罰金ノ言渡ヲ
受ク可シ
但シ此規則ト此輕罪ヲ犯

鬪毆律

シタル者ノ其時ニ於テ他
ノ重罪ヲ犯シタルニツキ
更ニ重刑ヲ受ク可キ規則
ト相抵觸スルコトナカル可
シ
何レノ法方ヲ論セス埋葬
ニツキ定メタル定期ノ法
則ニ背キシ者ハ同上ノ刑
ニ処セララル可シ

○鬪毆

凡鬪毆手足ヲ以テ人ヲ毆テ
傷ヲ成サ、ル者ハ懲役二
十日傷ヲ成シ及ヒ瓦石槌
棒等ヲ以テ人ヲ毆テ傷ヲ
成サ、ル者ハ懲役四十日
血耳目中ヨリ出テ及ヒ内
損シテ吐血スル者ハ懲役
八十日
人ノ一指一齒ヲ折リ一目

佛第三百九條 故意ヲ以テ

人ヲ創傷シ又ハ毆撃シ及
ヒ人ニ對シテ其他ノ暴行
ヲ加ヘタル者ノ其暴行ヲ
受ケシ者ヲシテ其暴行ヲ
爲メ二十日以上ノ時間病
ニ罹リ或ハ職業ヲ營スル
コト能ハサル等ニ至ラシタ
ル時ハ其犯人ニ於テ二年

ヲ眇ニシ耳鼻ヲ抉毀シ若クハ骨ヲ破リ及ヒ湯火ヲ以テ人ヲ傷スル者ハ懲役百日穢物ヲ以テ口鼻内ニ灌入スル者モ罪亦同二指二齒以上ヲ折リ及ヒ髮ヲ髡スル者ハ懲役一年人ノ肋ヲ折リ兩目ヲ眇ニシ及ヒ刃傷スル者ハ懲役二年

ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ処セラレ且三四トク二十錢ヨリ少カラス四百圓キヨウヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
佛第三百十一條 人ヲ創傷シ及ヒ攻撃シ又ハ其他ノ暴行ヲ人ニ對シテ加フルト雖モ其暴行ヲ受ケシ者

ニ於テ第三百九條ニ記シタル種類ノ病ニ罹リ及ヒ職業ヲ營スルコト能ハサル等ニ至ラサル時ハ其犯人ニ於テ六日ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル且三トク四十錢ヨリ少カラス四トク十圓ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ又ハ其刑中

ノ一箇ノ之ニ処セラレ可
シ
若シ前文ニ記スル所ノ罪
犯ノ預定ノ謀計ヲ用ヒ又
ハ人ノ來ルヲ待テ行ヒシ
時ハ其犯人ニ於テ二年ヨ
リ少カラス五年ヨリ多カ
ラサル時間禁錮ノ刑ニ処
セラレ且十日ヨリ少カラ
ス百回ヨリ多カラサル罰

金ノ言渡ヲ受クヘシ

佛第二百二十四條 言語體

勢及ヒ脅迫等ヲ以テ裁判
所ノ命ヲ傳フル官吏又ハ
政府ノ兵事ニ管スル官吏
及ヒ公務ノ任ヲ受ケシ者
等ハ對シ其職務上ノ事及
ヒ其職務ヲ行フ時等ニ當

罵詈律

○罵官吏

原罵本屬
長官律

第二百三十四條 允勅任官

ヲ罵ル者ハ懲役一年奏任
官ヲ罵ル者ハ懲役九十日
判任官ヲ罵ル者ハ懲役六
十日並ニ親ヲ聞テ乃坐ス

同條例

第二百三十五條 允判任官

勅任官ヲ罵ル者ハ懲役六
十日奏任官ヲ罵ル者ハ懲
役四十日並ニ親ヲ聞テ乃
坐ス

同條例

第二百三十六條 允奏任官
勅任官ヲ罵ル者ハ判任官
奏任官ヲ罵ルト罪同シ其
勅任官奏任官ヲ罵リ及ヒ
奏任官判任官ヲ罵ル者ハ

リ不敬ヲ行ヒシ者ハ六日
ヨリ少カラス一月ヨリ多
カラサル時間禁錮ノ刑ニ
処セラレ且ホラレ三四二十錢ヨ
リ少カラス三十四四十圓ヨリ多
カラサル罰金ノ言渡ヲ受
ケ或ハ此刑中ノ一箇ノミ
ノ言渡ヲ受ク可シ
[佛]第二百二十五條 政府ノ
兵ヲ指揮スル者ハ對シ前

並ニ允人罵詈ヲ以テ論ス

同條例

第二百三十七條 允平民本
属ノ戸長ヲ罵ル者ハ允人
罵詈ニ一等ヲ加ヘ邏卒ヲ
罵ル者ハ又一等ヲ加フ

條ニ記シタル不敬ヲ行ヒ
シ時ハ其犯人ニ於テ十五
日ヨリ少カラス三月ヨリ
多カラサル時間禁錮ノ刑
ニ處セラレ且ホラレ三四二十錢
ヨリ少カラス五十四百圓ヨリ多
カラサル罰金ノ言渡ヲ受
ク可シ

訴訟律

○兼告不理

凡人命及ヒ強盜等ヲ告ルニ
官司即時ニ受理セサル者
ハ懲役七十日閉改婚姻田
宅等ノ事ハ各犯人ノ罪ニ
二等減シ並ニ罪懲役七十
日ニ止ル賤ヲ受ケテ受理
セサル者ハ賤ニ計ヘ枉法
ヲ以テ重キニ從テ論ス

佛 第三百八十五條 裁判役及
ヒ政務ニ管スル者等ニ於
テ或ハ辭弊ヲ唱ヘ或ハ法
律上ノ定則ナク及ヒ法律
上ノ疑似等ヲ以テ口實ト
為テ裁判ヲ請フ者アリト
雖モ其裁判ヲ爲スヲ肯セ
ス且其上等官吏ノ譴責又
ハ其命令等ヲ受ケレ後ニ
於テ猶亦固執レテ其裁判

ヲ為サ、ル者ハ其訴訟ヲ
受ケ音ヲレク四十日ヨリ少カラス
百圓ヨリ少カラサル罰金
ノ言渡ヲ受ケ且五年ヨリ
少カラス二十年ヨリ多カ
ラサル時間公務ヲ行フノ
禁ヲ受ク可シ

○誣告
凡人ヲ誣告スル者ハ罪ノ輕
重ニ從ヒ已ニ決配シ未タ

匪 第三百七十三條 裁判役
又ハ政務及ヒ裁判等ノ事

決配セサルヲ問ハス告人
ヲ反坐ス死罪ニ誣告シテ
未夕処決セサル者ハ一等
ヲ減ス

若シ二事以上ヲ告ルニ重
事ハ實ニシテ輕事ハ虚及
ト數事ヲ告テ罪等キニ一
事實ナル者ハ並ニ誣告ノ
罪ヲ免ス
若シ二事以上ヲ告ルニ輕

ニ管シタル取締役等ニ一
人又ハ數人ヲ讒訴スル文
帑ヲ出セシ者ハ一月ヨリ
少カラス一年ヨリ多カラ
サル時間禁錮ノ刑ニ処セ
ラレ且二十回ヨリ少カラ
ス六百圓ヨリ多カラサル
罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
第三百七十八條 内科外
科ノ醫官及ヒ海陸軍醫士

事ハ實ニシテ重事ハ虚或
ハ一事ヲ告ルニ輕ヲ誣テ
重ト為ス者ハ並ニ剗ル所
ニ反坐ス
其二人以上ヲ告ルモ但夕
一人實ナラサル者アレハ
罪輕シト雖猶ホ其罪ニ反
坐ス
若シ上昏シテ人ヲ告ルニ
已ニ奏聞シテ事實ナラサ

又ハ取藥者產婆及ヒ其他
自己ノ職業又ハ其身位等
ニ因リ人ヨリ密事ノ托ヲ
受クル者ノ法律ニ循ヒ其
密事ヲ呈訴ス可キ場合外
ニ於テ其密事ヲ告發セシ
者ハ一月ヨリ少カラス六
月ヨリ多カラサル時間禁
錮ノ刑ニ処セラレ且二十
回ヨリ少カラス百圓ヨリ

ル者及坐ノ罪懲役二年ニ
及ハサル者ハ上書詐不實
律ニ依テ論ス
若シ獄囚已ニ伏罪シテ冤
枉ナキニ囚ノ親族妄訴ス
ル者ハ囚ノ罪ニ三等ヲ減
ス罪懲役一百日ニ止ル

受賍律

○官吏受賄

多カラサル罰金ノ言渡ヲ
受ク可シ

凡官吏枉法不枉法ノ事ニ因
テ賄ヲ受ル者ハ賍ニ計ヘ
之ヲ科ス等外人ハ各一等
ヲ減ス
若シ說事過錢スルモノ等
内人ハ錢ヲ受ル人ニ一等
ヲ減ス等外人ハ二等ヲ減
ス罪懲役一年半ニ止ル若
シ別ニ賄ヲ受ル者ハ枉法
不枉法賍ニ計ヘ重キニ從

佛 第七十五條 長官及ヒ
官吏又ハ政府ヨリ委ヲ受
ケン者等ノ公然ノ所行及
ヒ陰私ノ所行又ハ他人ノ
紹介ニテ其所行ヲ為ス等
ノ時其管頭及ヒ検査等ノ
任ヲ受クル職務裁判暗算
等ニツキ私利ヲ得タル者
ハ六月ヨリ少カラス二年
ヨリ多カラサル時間禁錮

テ論ス

枉法ノ賍各主アル者通算
シテ全科ス

○事後受賄

凡官吏兼行ノ事アリ先キニ
賄ヲ送ルコトヲ聽許セス事
過ノ後賄ヲ受ケ事若シ枉
断スル者ハ枉法ニ準シテ
論シ事枉断セサル者ハ不
枉法ニ準シテ論ス並ニ罪

ノ刑ニ処セラレ且償還ノ
額ノ四分一ヨリ多カラス
十二分の一ヨリ少カラサ
ル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ
算還ヲ命シ及ヒ算還ヲ爲
ス可キ任ヲ受ケタル職務
ニ於テ私利ヲ得タル官吏
及ヒ其他ノ政府ヨリ委任
ヲ受ケシ者等ハ同刑ニ処
セラルヘシ

懲役十年ニ止ル錢ヲ出シ
及ヒ過スルノ人ハ並ニ懲
役七十日

○聽許賄物

凡官吏賄物ヲ送ルコトヲ聽許
スレハ未タ授受セスト由
モ事若シ枉ル者ハ枉法ニ
準シテ論ス事枉ケサル者
ハ不枉法ニ準シ各一等ヲ
減ス枉ル所重キ者ハ重キ

○第一百七十七條 政府及ヒ

裁判所等ノ事ニ管スル長
官又ハ官署ノ官吏及ヒ小
吏等ニ於テ縱令ヒ公正ノ
職務ニ管シタル所為ト由
モ報金ヲ受ク可ラサル所
行ニ於テ贈遺ヲ受ケ及ヒ
贈遺ノ契約ヲ結ヒシ者ハ
民權剥奪ノ刑ヲ受ケ其契
約ノ額及ヒ其贈遺ノ額等

二從テ論ス

二二倍ノ罰金ノ言渡ヲ受
ク可シ但シ其罰金ハ何レ
ノ時トモモ四十圓二百ヲシテヨリ以
下ナル事ナカル可シ
契約ヲ結ヒ反ヒ贈遺ヲ受
ケ當然ノ職務ヲ行フ事ヲ
停止シタル長官又ハ官署
ノ官吏及ヒ小吏等ハ同刑
ニ処セララルヘシ
裁判所又ハ原告人及ヒ被

告人等ノ撰トニ因リ訴訟
間ニ於テ取扱ヲ為ス者又
ハ評價人等ノ契約ヲ結ヒ
及ヒ贈遺ヲ受ケ頗黨ノ審
断論說等ヲ為タル時ハ同
刑ニ処セララル可シ

佛 第百八十一條 若シ重罪
ヲ審判スル裁判役及ヒ陪
審等ノ原告被告中其一方
ノ贈遺ヲ受ケテ其利ヲ構

成レ及ヒ一方ノ害ヲ構成
セシ者ハ第百七十七條ニ
記載セシ罰金ノ外徒刑場
内ニ於テ駆役スル刑ニ処
セラレ可シ

○以賤請求

凡請人事アリ賤ヲ以テ官吏
ニ請求シ法ヲ枉ルコトヲ得
ント欲スル者ハ與フル所
ノ賤ヲ計ヘ坐賍ニ依リ論

佛第百七十九條 第百七十
七條ニ記シタル所ノ官吏
ヲ脅迫シ及ヒ脅迫セント
為シ又ハ契約贈遺等ヲ以

ス
若シ官吏可證留難シテ歸
結ニ與ヘス及ヒ強ヲ用ヒ
テ別ニ事ヲ生シ逼抑シテ
賤ヲ取受スル者ハ錢ヲ出
ス人ハ坐セス

テ其良心ヲ誘惑シ頗黨ノ
論說不正ノ口上昏及ヒ證
昏評價等ヲ得ント為シ又
ハ位階職務裁判暗算及ヒ
其他ノ利益等ヲ得ント為
ス者又ハ其長官及ヒ官吏
又ハ小吏等ヲシテ其曲庇
ヲナサシメントシ又ハ官
吏ヲシテ當然ノ職務ヲ行
フ事ヲ停止セシメント為

者等ハ贈遺ヲ受ケシ者ト
同刑ニ処ス可シ

若シ脅迫及ニ贈遺等ヲ為
ス可キヲ企ツルト雖モ
其事ノ成就ヒサル時ハ其
企ヲ為タル者ニ於テ三月
ヨリ少カラス六月ヨリ多
カラサル時間禁錮ノ刑ニ
処セラレ且百ヲシテ二十回ヨリ少

詐偽律

○對詔上書不以實條例

第二百四十七條 凡對詔及
ヒ奏事上書ヲ除ク外上ニ
告ルニ詐テ實ヲ以テセサ
ル者ハ懲役一年情輕キ者
ハ懲役八十日

カラス三百ヲシテ六十回ヨリ多カラ
サル罰金ノ言渡ヲ受クシ

佛 第三百六十二條 輕罪ノ

事ニツキ被告人ニ對シ害
ヲ加フヘキ為メ又ハ被告
人ヲ曲庇ス可キ為メ偽証
ヲ用ヒシ者ハ二年ヨリ少
カラス五年ヨリ多カラサ
ル時間禁錮ノ刑ニ処セラ

レ且十^年四^年ヨリ少カラス四^年
百圓ヨリ多カラサル罰金
ノ言渡ヲ受ク可シ
若シ被告人ニ於テ五年以
上ノ時間禁錮ノ刑ニ処セ
ラレシ時ハ其被告人ニ對
シ害ヲ加フ可キ為メ偽証
ヲ用ヒシ者ニ於テモ亦其
被告人ノ受タル刑ト同刑
ニ処セララルベシ

註誤ノ罪ニツキ被告人ニ
對シ害ヲ加フ可キ為メ又
ハ被告人ヲ曲庇ス可キ為
メ偽証ヲ用ヒシ者ハ一年
ヨリ少カラス三年ヨリ多
カラサル時間禁錮ノ刑ニ
処セラレ且三^十圓^十錢^ヨ
リ少カラス百^圓ヨリ多カ
ラサル罰金ノ言渡ヲ受ク
可シ

○改正偽造寶貨

凡寶貨ヲ取受スルノ後始テ
偽造ニ係ルコトヲ知り官ノ
檢視ヲ經スシテ行使スル
者ハ不應為重ニ問フ

○第三百三十五條 貨幣ノ惡
質ナル事ヲ證シ又ハ證セ
シメシ後ニ之ヲ使用シタ
ル者ハ其使用シタル額ノ
三倍ヨリ少カラス六倍ヨ
リ多カラサル罰金ノ言渡
ヲ受ク可シ但シ其罰金ハ
何レノ時ト雖モ三圓^{以上}二十
錢ヨリ少キコトナル可シ

○偽造斛斗秤尺

凡斛斗秤尺ヲ偽造スル者ハ
懲役五年從タル者及ヒ匠
人ハ徒三年

○第四百二十三條 金銀ノ

性質及ヒ真正ナリト為シ
販賣シタル贋造ノ石類ノ
性質又ハ諸般ノ商品ノ性
質等ニツキ買主ヲ欺キシ
者及ヒ贋造シタル度量ノ
具ヲ用ヒテ販賣ヲ為ス品
物ノ分量ヲ偽リシ者等ハ
三月ヨリ少カラス一年ヨ

リ考カラサル時間禁錮ノ
刑ニ処セラレ且償還ノ金
額ノ四分一ヨリ多カラズ
十回ヨリ少カラサル罰金
ノ言渡ヲ受ク可シ
此輕罪ニ管レタル品物及
其價銀等ニ於テ尚ホ買主
ニ属スルトキハ之ヲ没収
シ且其實造レタル度量ノ
具モ亦没収レテ之ヲ破毀

○詐称官

凡無官ニシテ有官ト詐称シ
或ハ官司ノ差遣ト詐称シ

ス可シ
又裁判所ノ意ヲ以テ擇ミ
タル場所ニ裁判ノ言渡書
ヲ貼附シ且其裁判言渡ノ
摘抄又ハ全文等ヲ刺期刊
行ノ書ニ印シテ其費用ヲ
犯人ヨリ償ハシム可シ

佛 第二百五十九條 名望ヲ
得可キ為ノ相當ノ威權ヲ

レ人ヲ捕ヘ及ヒ官負ノ姓名ヲ詐冒シテ求為スル所
有ル者ハ懲役二年半犯ス
所輕キ者ハ懲役七十日
若シ見任官ノ子孫弟姪家
令等ト詐稱シテ求為スル
所アル者ハ懲役九十日犯
ス所輕キ者ハ懲役三十日
從タル者ハ各一等ヲ減ス
若賅ヲ得ル者ハ賍ニ計ヘ

クシテ公然ニ其官名ヲ詭
稱シ又ハ民生ノ證昏ニ記
シタル姓名ヲ更改シタル
者ハ百回ヨリ少カラス二
千回ヨリ多カラサル罰金
ノ言渡ヲ受ク可シ

窃盜ニ準シ重キニ從テ論
ス罪懲役十年ニ止ル

犯其律

○改 犯其

凡和姦夫アル者ハ各懲役一
年妾ハ一等ヲ減ス

同律

若シ媒合及ヒ容止シテ通
姦セシムル者ハ犯人ノ罪
ニ三等ヲ減ス

佛 第三百三十七條 姦通ノ

證ノ發セシ婦ハ三月ヨリ
少カラス二年ヨリ多カラ
サル時間禁錮ノ刑ニ処セ
ラルヘシ
夫ニ於テ其姦通セシ婦ヲ
再姦スルヲ肯スル時ハ
其刑ヲ停止スルヲ得ヘ
シ

佛第三百三十八條 姦夫ハ
姦婦ト同期ノ時間禁錮ノ
刑ニ処セラレ且百カニシ二十回ヨ
リ少カラス四百回ヨリ多
カラサル罰金ノ言渡ヲ受
ク可シ

佛第三百三十四條 男女ヲ
論セス常ニ二十一歳以下
ノ年少ノ者ノ淫行ヲ誘起
シ及ヒ幫助シ又ハ容易ナ

ラシム可キ等ノ事ヲ為シ
シテ風俗ヲ乱サント為タ
ル者ハ六月ヨリ少カラス
二年ヨリ多カラサル時間
禁錮ノ刑ニ處セラレ且五十
回ヨリ少カラス百回ヨリ
ヨリ多カラサル罰金ノ言
渡ヲ受ク可レ
若シ父母又ハ後見人及ヒ
其他年少ノ者ヲ照管ス可

キ任ヲ受ケシ者等ニ於テ
其誘行ヲ誘起シ及ヒ幫助
シ又ハ容易ナラシム可キ
等ノ事ヲ爲シタル時ハ其
犯人ニ於テ二年ヨリ少カ
ラス五年ヨリ多カラサル
時間禁錮ノ刑ニ処セラレ
且六十回（音ヨリ）ヨリ少カラス二
百回（キヨリ）ヨリ多カラサル罰金
ノ言渡ヲ受ク可シ

明治九年四月出版

東京第三大区一小區平川町六丁目
十一番地

編輯人 豊岡縣士族 工東祐民

同第一大區十一小區通新石町
十八番地

出版人 平民書肆

高橋源輔

